

## 令和5年度 豊里こども園 自己評価（評価分析と今後の課題）

職員の自己評価による		
1	教育保育の理念・方針・目標の理解について	法人の基本理念、教育保育方針そして目指す姿を職員全員が理解・共感しており自己評価も高い。全ての職員が同じ目標を持つことで業種の異なる職員間にも一体感が生まれるよう努めている。
2	教育保育について	一人ひとりの発達を踏まえた指導計画になっており、全ての職員が子どもの状況を理解し気持ちを十分くみ取って教育保育を行うことが出来た。また、子どもの意欲を高める環境設定の評価は上がった。環境衛生についても十分な配慮を行った。 一方、職員間の情報の共有や園長への迅速な報告が出来ていない場合があることがまだ見受けられる点は改善しなければならない。 常に子どもたちに自信を持たせるような言葉かけが出来た職員は90%であり、全職員となるようにしたい。
3	健康管理について	子ども達の日々の健康状態・体調に合わせた保育を全職員が行えた。また玩具等子ども達が触れるものへの衛生管理についても全職員が強く意識できている。 うがい手洗い等感染予防について昨年度より評価が若干下がったのは、コロナ慣れで当たり前となっている分意識としては昨年度の方が高かったためと思われる。
4	行事について	コロナ禍後全ての行事を見直し子どもの成長にとってよりプラスのなるものを仕分けた。その結果子どもへの負担も減り自由で自発的な教育保育を行えるようになった。 行事の意味について、「行事」は行うことが目的ではなく手段であること、あくまでも子どもの育ち（成長）が目的であることを全職員が理解して行えた。
5	食育について	給食については、コロナ禍を経て食べる意欲が育つような楽しい雰囲気をつくるよう心掛けた。野菜作りやトマト狩り等を積極的に行い食への興味を引き出せた。 アレルギー等を職員間で把握し適切な配慮をすることは良く出来ている。調理担当者と子ども達とのコミュニケーションが図られてきており食育の効果は以前より高まったと思う。
6	保健・安全について	室内や園庭の衛生・安全管理及び感染症対策は良く出来ている。また様々な災害を想定した訓練を行うことで、万が一の際の対応も問題なくできると思う。
7	研修・研究について	キャリアアップ研修に申し込むも抽選で外れたため予定通りの研修は受講できなかった。ほとんどがオンライン研修で、休憩時間を利用して多くの職員が参加することが出来た。研修で学んだことを日々の教育保育に反映させ、子どもの育ちに生かすことが重要である。
8	情報管理について	園児の個人記録は適切に作成・管理・処理できている。利用者の情報についても守秘義務の徹底ができている。
9	設備について	ほとんどの職員が園内の設備を有効に大切に活用している。掲示物について、より効果的になるよう掲示場所の工夫をする必要がある。

10	保護者支援について	<p>全ての職員が、送迎の際に子どもの様子を伝えたりして保護者とコミュニケーションが図られている。連絡帳についても、貴重なツールとして効果的に活用できている。更により利便性の高いソフトの活用もしたい。入園時の個別面談も効果的に活用出来た。</p> <p>また、保護者以外の地域の方々への子育て支援については少しずつ意識できてきたと思う。</p>
11	開かれた園作りについて	<p>保護者から子育てについての相談を受ける職員が増えた。職員一人ひとりの保育知識と技術そしてコミュニケーション能力が高まってきたと思う。散歩中に出会う地域の方や来客への挨拶も職員全員が明るく出来ている。</p> <p>社会貢献活動として行っている「衣類バンク事業」については職員の意識は昨年度より高まってきた。保育施設職員は福祉職員であることを自覚して、もっと社会への視野を広げ、特に生活困窮者への支援が大切であることを引き続き意識した活動をしていきたい。</p>
12	情報発信について	<p>施設側からの情報発信は以前より大分出来てきた。</p> <p>園だより、保健だより、食育だより等紙ベースの発信を継続していることに加え、ホームページを活用して日頃の教育保育活動を伝えられてきている。今後も、送迎に来られない保護者にも子ども達の様子がわかるよう写真をこまめに更新していきたい。またそれが地域への情報発信に繋がっていくと思う。</p>